

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	3771500752		
法人名	医療法人社団 有隣会		
事業所名	グループホームさくら		
所在地	香川県綾歌郡綾川町滝宮557-5 (電話)087-876-5661		
評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年8月25日	評価決定日	平成20年9月18日

【情報提供票より】(20年7月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 16年 3月 30日
ユニット数	2ユニット 利用定員数計 18人
職員数	16人 常勤 12人, 非常勤 4人, 常勤換算 15.2人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての1階~2階部分
------	----------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	39,000円	その他の経費(月額)	15,000円+実費
敷金	有(円)		無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

(4) 利用者の概要(8月25日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	0名	要介護2	2名		
要介護3	9名	要介護4	5名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 87歳	最低	70歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 有隣会 溝渕クリニック
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、地域の人々の意見、要望を受けて設置されていることを、管理者・職員は十分に認識、理解している。そのために、利用者一人ひとりを大切にされた支援の有り方について検討・協議し、実践に向け努力している姿勢がうかがえる。また、医療連携体制の強化・充実が図られ、利用者や家族は日々のケアに安心・信頼を寄せている。さらに、地域の中での役割についても、常に考え地域との交流を深める努力をしており、利用者が地域の中でその人らしく暮らし続けられる運営が期待できる事業所である。

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題については、運営者、管理者、職員、家族により積極的に検討・協議が行われ、改善方針についても関係者間の共有が図られている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員は自己評価の意義を理解しており、職員の意見を集約し自己評価を作成した。職員は、自己評価を通じて日々の実践を振り返る機会にしている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は年2回の開催であるが、事業所の活動報告、外部評価の結果、課題など会議の目的が明確であり、効果的に運営されている。参加者は議題について活発に意見交換し、サービスの改善・向上に活かし、地域の協力体制や行事への参加など活動が拡大している。今後、さらにサービスの質向上のモニター役としての機能に期待したい。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>ご意見箱の設置、苦情相談窓口の表示や家族会でアンケートを取ったり、運営推進会議に複数の家族代表者を依頼するなどにより意見、不満、苦情を受け止め、運営に反映させている。また、面会時にも積極的に声かけし、個別に希望や意見をお聴きしている。そして、毎月、担当職員が、利用者一人ひとりの外出や行事への参加、健康状態など暮らしぶりを文書で報告し、安心・信頼を深めるよう努めている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>ゲートボール大会や小学校の運動会や事業所周辺の溝掃除への参加など、地域の人々との交流が深まっている。また、郵便局での利用者の作品展示や新たに老人会行事に併せて介護教室を開くなど取り組みが進んでいる。さらに、管理者、職員はこれらの取り組みを拡大したいとの考えがあるので、事業所と地域の人々が共に支えあうような双方向関係を築き、利用者が地域とつながりながら暮らしていることを実感できるような支援を期待している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、事業所が地域の中で運営され、利用者一人ひとりがその人らしい生活を営めるよう具体的な独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は理念の共有のために、毎朝、声に出して確認しあっている。また、職員一人ひとり、何を大切に利用者に向き合うかを考えながら、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会のゲートボール大会や小学校の運動会などの行事や地域の溝掃除の参加など、地域の人々との交流が深まってきている。郵便局での作品展示や新たに老人会行事に併せて介護教室を開くなど取り組みが進んでいる。	○	事業者や利用者が地域とつながりを持ちながら暮らしていくために、事業所と地域の人々が共に支えあうような双方向関係を築くことが大切と思われる。さらに、事業所の取り組みを行政、地域へ積極的に広報し、介護教室や利用者の作品出展の場を拡大し、継続実施するなどの取り組みに期待している。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者が中心になり評価作業を行い職員に意見を求め仕上げた。職員は、自己評価を通じて日々の実践を振り返る機会にしている。前回の外部評価の結果は全員で確認・検討し、改善に向けて取り組んできた。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の目的などが明確であり効果的に運営されている。評価への取り組みや日々のケアへの課題についてなど参加者からの極的な意見を、サービスの改善・向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の介護保険担当や地域包括支援センターには個別の相談をしたり、運営に関する意見を求めるなどにより連携は取れている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月、担当職員が、利用者一人ひとりの外出や行事への参加、健康状態、金銭出納など事業所での状況を文書で報告している。また、面会時にも直接、日頃の生活ぶりを伝え安心・信頼を深めるよう努めている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置、苦情相談窓口の表示、家族会や面会時などを通じて意見、不満、苦情を受け止め対応している。いただいた意見から時間ごとの業務量と職員の配置状況を再検討し、勤務表の組み方を見直し改善するなど運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、事業所内にするなど必要最小限にできる体制にある。異動などによる影響については十分認識し、常に、ユニット間の情報交換や行事などを通じて異動時のダメージを防ぐように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体の年間研修計画をもとに研修に参加し、参加できなかった者には伝達する仕組みができています。外部研修には法人の派遣計画に沿って参加している。管理者は、新任者に対して、チェックシートを活用して現任教育に取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業所としては外部の同業者との交流は予定していないが、研修などの機会を通じて他の事業所と連携を持ち、情報交換や意見交換を行いサービスの質向上に役立っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用前には見学、話し合いにより事業所の雰囲気に触れていただくようにし、安心感をもって利用していただける対応に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と介護者という壁をつくらず人生の先輩として尊敬をもって接している。特に職員は、傾聴・寄り添いの姿勢を大切にしながら、利用者と共に学び、支えあう関係ができています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始にあたって本人や家族からの情報によりこれまでの生活歴を把握している。また、日常の会話や行動から思いや意向を把握し、希望に沿えるよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス担当者会や毎月のカンファレンスなどでケアのあり方や課題について話し合い、利用者の立場で介護計画を作成している。必要に応じて、法人内の栄養士や理学療法士が参加することもある。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	受け持ち担当者による評価・分析を基に定期的な見直しと、状態変化など必要に応じて利用者、家族、計画担当者など関係者によるサービス担当者会議を開催し、介護計画を見直している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	特に、医療連携体制の強化・充実に努め利用者や家族の安心、信頼を得ている。また、利用者・家族の状況により買い物に同行するなど柔軟に対応している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人および家族などの希望によりかかりつけ医の医療を受けられることを説明し、希望に沿った対応ができている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	前回の外部評価後、本人や家族、運営者(協力医療機関)、職員が時間をかけて協議し、事業所としての方針を関係者間で共有することができた。今後も、最善のケアができるよう繰り返し話し合い、確認していくこととしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉かけや行動に利用者の誇りやプライバシーを損ねることのない対応を徹底している。また、個人情報の保護については細心の注意を払い取り扱いをしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の生活プログラムはあるが、一人ひとりのペースを大切に、その日の希望に沿えるよう柔軟に対応をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に献立を考えたり、買出しに行ったり、皮むきなどの準備や後片付けなど、一人ひとりの好みや力を活かせるよう支援している。介助を要する利用者や誤嚥予防のための見守りのために、利用者と一緒に作った食事を共に味わうという楽しみ方はできていない。	○	一緒に作った食事を一緒に食し味わうことで、さらに食事が楽しみなものになると思われる。引き続き、見守りと介助をする人、共に食事をする人に分かれて支援するなどについての具体的な方法について検討されることが望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	常に利用者の意思を確認しながら、湯の温度、回数、入浴方法など希望に沿った入浴ができるよう対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	絵を描いたり、食事の下ごしらえを手伝ったり、野菜や果物を栽培するなど一人ひとりの思い・力量に応じて過ごせるよう支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとり、その時々や状態や希望に応じて近くのマーケットまで買い物に行ったり、散歩する機会を増やすなど、日常的な外出支援をケアの中で大切にしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員は、日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しているが、利用者の安全面を最優先し、施錠による対応を家族とともに確認している。しかし、庭の草花の水やり、洗濯物を干したり取り入れたり、買い物に出かけるなど日常生活の中で自由に外に出る時間、機会をつくるなど努力している。	○	さらに、利用者一人ひとりの行動把握や見守りについての取り組みを、関係者が話し合い、一日のうちで、少しでも利用者が自由に外に出られる機会が増えることを期待している。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の法人全体の消防訓練や避難訓練には、利用者も参加し実施している。その後のミーティングで、事業所としての取り組みを話し合い確認している。今は、近隣の人々の参加はないが、今後、地域の自営消防団との連携を検討している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分量は記録し、スタッフ間で共有している。特に、水分摂取には気を配り、食事やおやつの時など声かけし確保できるよう支援している。法人内管理栄養士の協力を得ながら栄養バランスについても気を配っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下は広く、明るく、換気にも注意し、居心地のよい空間となっている。また、生け花や作品などから季節感を感じることができるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	椅子やテーブル、テレビ、冷蔵庫などを持ち込んだり、利用者の趣味を活かした室内の装飾などその人らしく居心地よく過ごせるよう支援している。		